

平成22年1月8日

各位

上場会社名 サムティ株式会社
 代表者 代表取締役社長 森山 茂
 (コード番号 3244)
 問合せ先責任者 取締役経営企画室長 小川 靖展
 (TEL 06-6838-3616)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年10月9日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成21年11月期通期連結業績予想数値の修正(平成20年12月1日～平成21年11月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	15,400	3,000	1,000	1,400	10,508.53
今回発表予想(B)	15,984	1,974	192	1,506	11,310.22
増減額(B-A)	584	△1,026	△808	106	
増減率(%)	3.8	△34.2	△80.8	7.6	
(ご参考)前期実績 (平成20年11月期)	22,048	4,257	1,960	△4,522	△34,056.72

平成21年11月期通期個別業績予想数値の修正(平成20年12月1日～平成21年11月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	13,900	2,300	1,100	1,500	11,259.14
今回発表予想(B)	14,530	1,347	506	1,074	8,066.66
増減額(B-A)	630	△953	△594	△426	
増減率(%)	4.5	△41.4	△54.0	△28.4	
(ご参考)前期実績 (平成20年11月期)	21,010	3,762	2,189	△4,671	△35,181.04

修正の理由

(1)連結

昨今の不動産業界につきましては、世界的な信用収縮に伴う金融機関の不動産融資案件への審査の選別化など、依然として厳しい状況が続いております。このような中、外部環境の変化に適切に対応すべく、関西を基盤とした安定的ストックビジネスである不動産賃貸事業及び不動産分譲事業を中心とする一方で、このような厳しい資金調達環境下においても機動的な資金調達が出来るよう、金融機関との関係強化に努めてまいりました。

このような事業環境の中、資金回収を優先し物件を前倒して売却した結果、売上高に関しましては、584百万円予想数値を上回る予定です。

営業利益に関しましては、物件を前倒して販売した結果、第2四半期においては当初計画を上回りましたが、依然低迷した不動産販売価格の影響を受け売却価格が下落し、かつ、棚卸資産評価損の計上により、収益率の悪化を余儀なくされ、1,026百万円当初予想を下回る予定です。

営業外損益に関しましては、営業外利益について当初予定していた収益以外に違約金収入があり、また主に支払利息等が抑制された結果、経常利益は808百万円予想数値を下回る予定です。

また、特別損益に関しましては、役員退職慰労金制度の廃止に伴う役員退職慰労引当金戻入益377百万円の計上及び過年度未払法人税等の戻入益562百万円の計上を主な要因とし、最終的に当期純利益は106百万円当初予想を上回る予定です。

その結果、平成21年11月期通期の売上高は15,984百万円、営業利益は1,974百万円、経常利益は192百万円、当期純利益は1,506百万円となる見込みです。

(2)個別

売上高、営業利益及び経常利益に関しましては、連結業績予想の修正と同様の理由です。

特別損益に関しましては、連結業績予想の修正理由に加え、債権に関して将来の損失に備えるための貸倒引当金繰入額が413百万円発生したため、最終的に当期純利益が426百万円当初予想を下回る予定です。

その結果、平成21年11月期通期の売上高は14,530百万円、営業利益は1,347百万円、経常利益は506百万円、当期純利益は1,074百万円となる見込みです。

以上